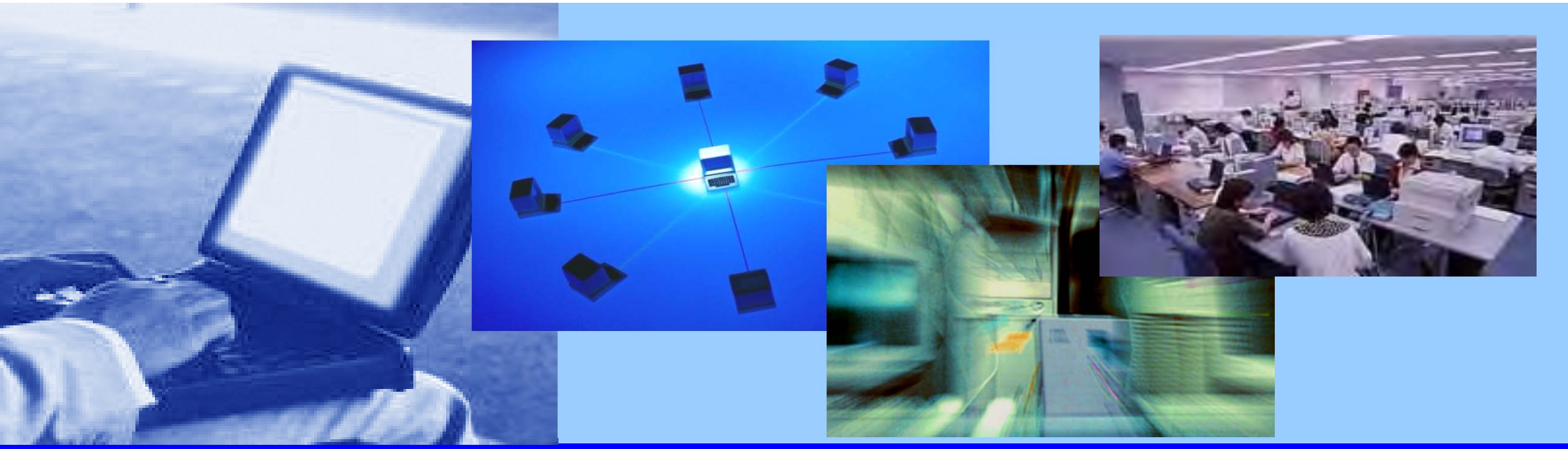


個人投資家向け説明会

平成26年 9月 11日

株式会社 東邦システムサイエンス

証券コード：4333　東証一部

はじめに

ごあいさつ

東邦システムサイエンスは、昭和46年に旧東邦生命保険相互会社のシステム開発・運用を担うグループ会社として設立され、平成１１年6月の東邦生命の経営破綻に伴い独立系のＩＴ企業となって再出発し、平成26年3月に当社の悲願であった東京証券取引所市場一部指定を果たしました。

元生命保険システム子会社の強みを活かし、生命保険をはじめ損害保険、銀行、証券など金融全般のシステムでは技術と業務に精通した「システム開発のプロ集団」と、お客様から高い評価を頂いております。
当社の強みを更に強固なものとし、今後ともお客様に信頼されご期待にお応えするシステムを提供してまいります。

代表取締役社長兼COO
村上　宣夫

代表取締役会長兼CEO
篠原　誠司

トピックス

平成26年3月に東京証券取引所市場第一部に指定

平成26年3月期の売上は過去最高の100億円突破

東証一部指定記念で３円配当を加え25円配当を実施

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

会社概要

社　名	株式会社東邦システムサイエンス
設　立	昭和46年6月（1971年）
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
資本金	5億2,658 万円 （平成26年3月末日現在）
発行済株式数	6,932,996 株 （平成26年3月末日現在）
単元株式数	100株

事業内容	1. ソフトウェア開発	96.7 % ※
	2. 情報システムサービス等	3.3 % ※
特　徴	金融コア型経営	

売上高	10,481 百万円 ※
経常利益	882 百万円 ※
当期純利益	499 百万円 ※
総資産	7,401 百万円 ※
純資産	4,088 百万円 ※
従業員数	530 名 ※

※ 平成26年3月期

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

沿革

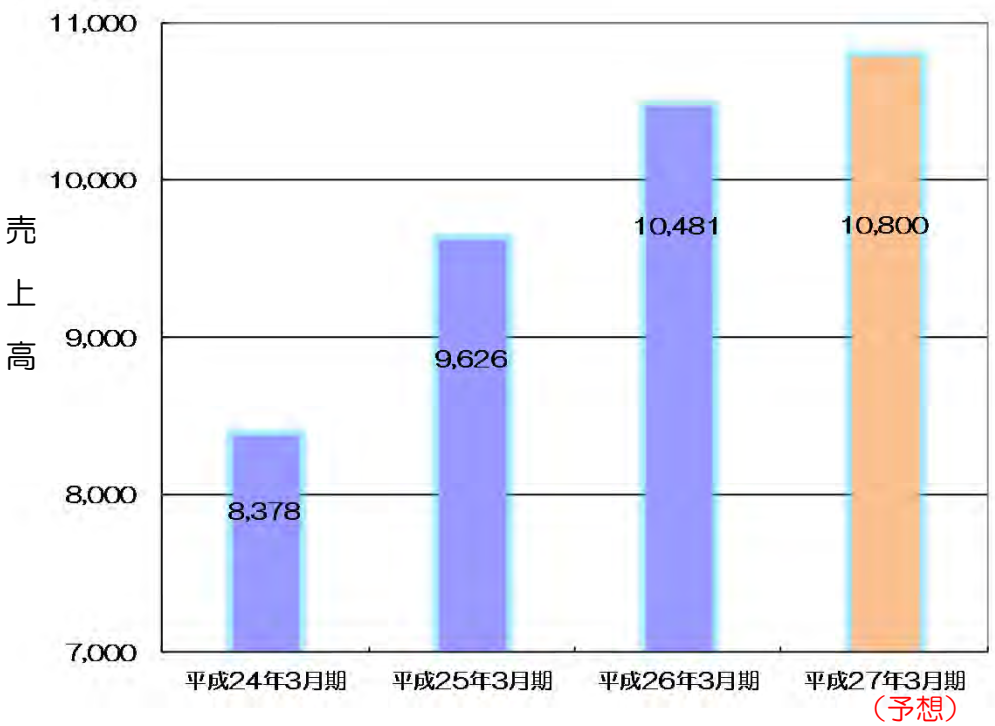
昭和46年　6月	東邦生命保険相互会社の関連会社として株式会社東邦計算センター設立
平成元年　4月	株式会社東邦システムサイエンス（TSS）に商号変更
平成11年　6月	東邦生命保険相互会社経営破綻、独立系ソフトウェア会社として事業継続
平成11年10月	株式会社ティエスエス・データ・サービス（連結子会社）を設立
平成13年12月	JASDAQ市場（現東証JASDAQ）に株式を店頭登録
平成14年　3月	経済産業省システムインテグレータ認定
平成16年　2月	ISO9001認証取得
平成17年　4月	株式会社中野ソフトウェア・エースと合併
平成17年12月	株式会社テムス営業全部譲受け
平成19年　1月	プライバシーマーク取得
平成19年　3月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場
平成20年　4月	株式会社野村総合研究所とe-eパートナー契約締結
平成21年　4月	株式会社インステクノの株式取得（100%子会社化）
平成21年10月	株式会社エヌ・ティ・ティ・データのビジネスパートナーに認定
平成23年　4月	株式会社インステクノ、株式会社ティエスエス・データ・サービスを吸収合併
平成24年　5月	LGCNSジャパンと生命保険業務パッケージで業務提携
平成25年　5月	韓国イノルールズ社のルールエンジン innoRules の代理店として販売を開始
平成26年　3月	東京証券取引所市場第一部に指定

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

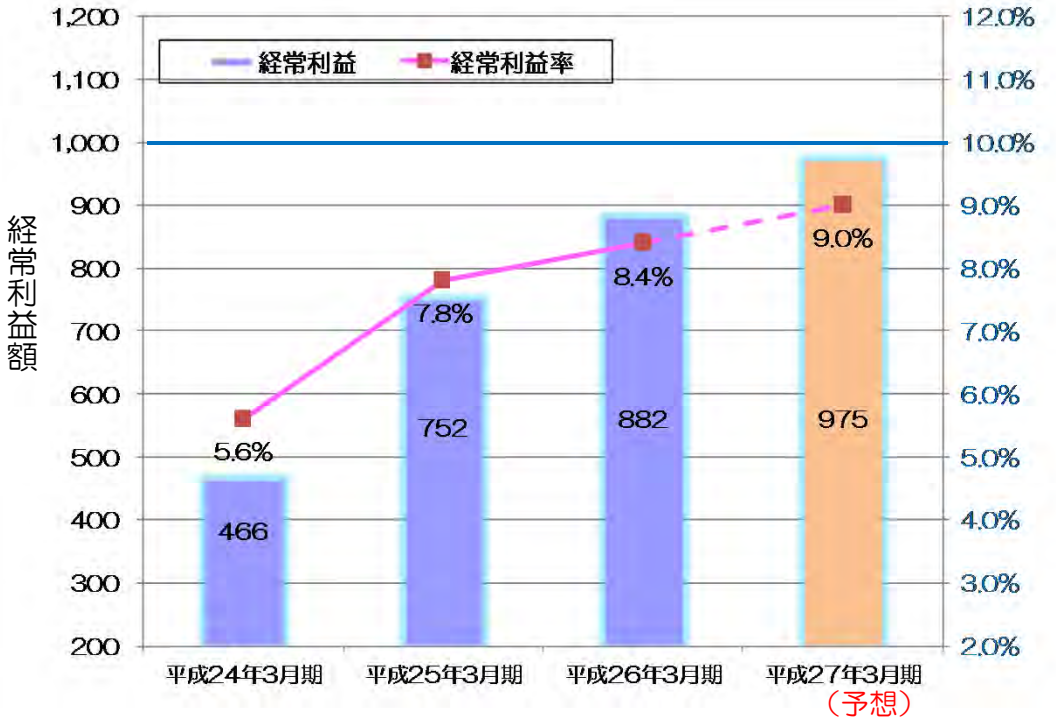
業績推移（過去3年及び平成27年３月期計画）

業績推移　（過去3年及び平成27年３月期計画）

● 売　上　高



● 経常利益/経常利益率

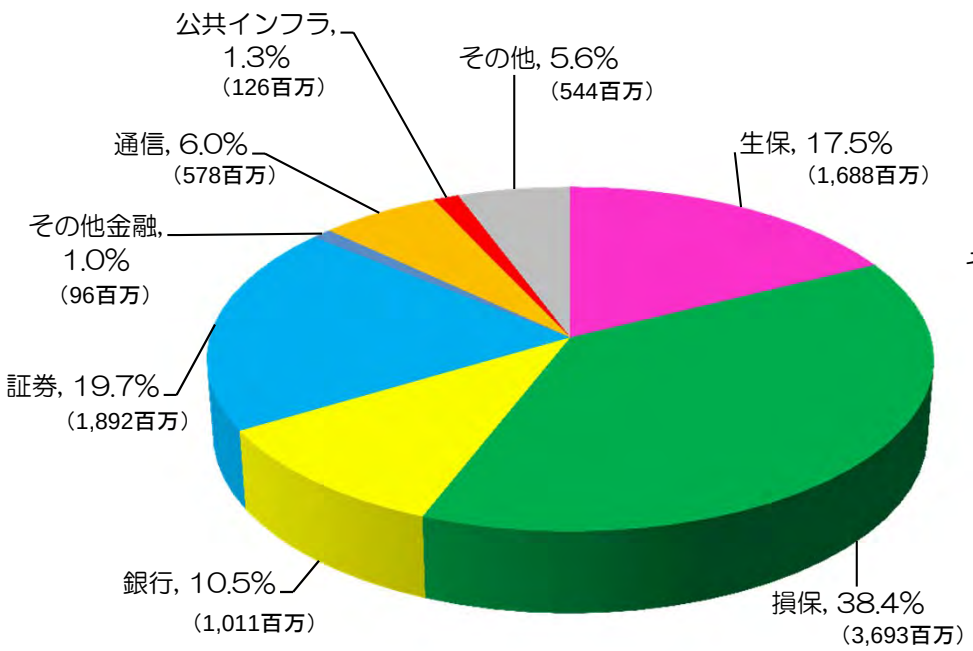


- 過去３年の売上高、経常利益は好調に推移
- 平成26年3月期実績の売上高は100億を突破し、過去最高を更新
- 平成27年3月期計画では、売上高・経常利益ともに前期を上回る計画

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

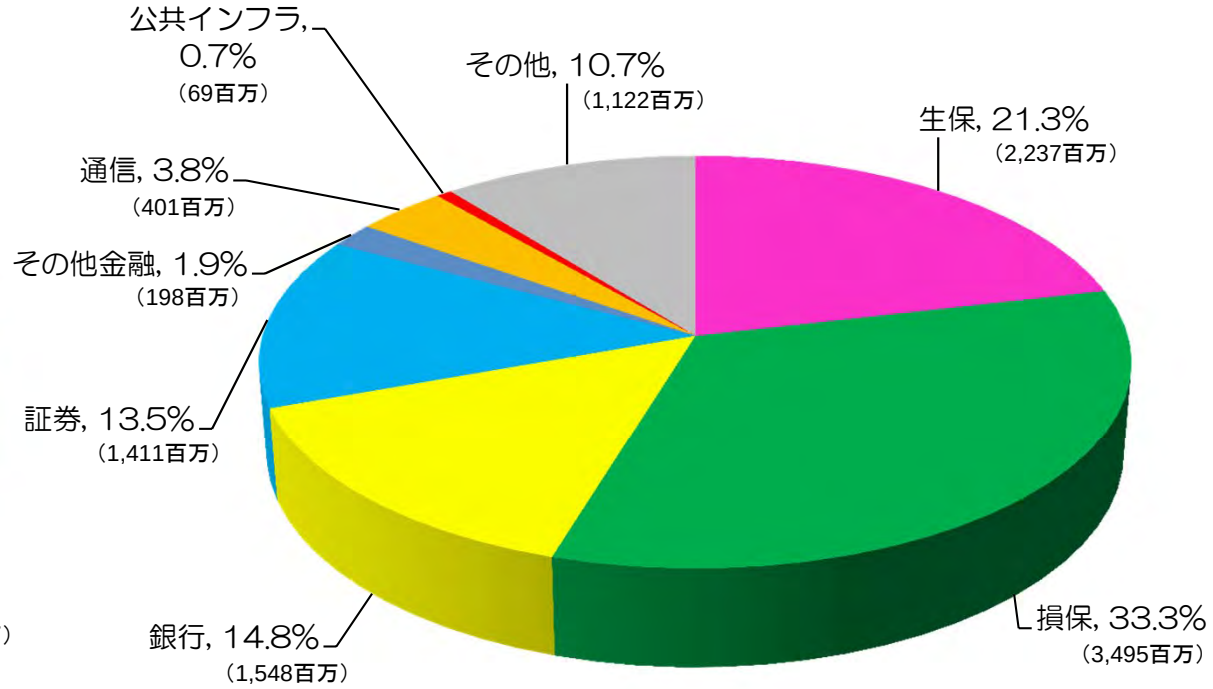
業種別売上構成比

平成25年3月期



売上高　：9,626百万円
金融関連：87.1%（8,387百万円）

平成26年3月期



売上高　：10,481百万円
金融関連：84.8%（8,889百万円）

- 金融系では生命保険及び銀行業務が伸び、損害保険、証券は大型案件終了で若干減少
- 金融以外では福祉系・郵便系などの業務が+5億と大幅に伸展

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

主要取引先及び業種別売上内訳（平成26年3月期）

主要取引先

売上高上位３社

1. (株)野村総合研究所

35億97百万 円　（34.3%，7%減）

2. 新日鉄住金ソリューションズ(株)

６億94百万 円　（6.6%、74.0%増）

3. あいおいニッセイ同和損害保険(株)

5億98百万 円　（5.7%、7.6%増）

※ 売上先社名の下段は売上高（構成比、前期比増減）

主要取引先における業種別売上高

(株)野村総合研究所

• 損保	12億38百万 円
• 生保	12億23百万 円
• 証券	6億21百万 円
• 福祉	3億17百万 円
• 銀行	1億98百万 円

新日鉄住金ソリューションズ(株)

• 銀行	6億94百万 円

あいおいニッセイ同和損害保険(株)

• 損保	5億98百万 円

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

TSSの強み

1．顧客業務に精通したシステム提案力とシステム構築力

- 高いIT技術力　（IT系で975資格を取得）
- 特に金融系業務に対する豊富な業務知識と経験（金融系367資格）
- 高度、大型のプロジェクトを成功に導くプロジェクト・マネジメント力
- 品質への徹底したこだわりと、顧客満足度最重視のコミュニケーション

2．多数の優良顧客との継続的かつバランスのとれた取引

- 日本を代表する大手金融機関各社（生命保険、損害保険、証券、銀行）
- 公共サービス企業（電力、放送、新聞、自治体）
- 大手SIer（各社との中核パートナー契約の締結）
- コンピュータメーカー（各社ユーザー会メンバー、情報の共有）

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

TSSの強み

3．主要SIerとのパートナー契約

(株)野村総合研究所	
eパートナー	平成16年3月
e-eパートナー	平成20年4月

日本ユニシス(株)	
ユニシス・ビジネス・コア・パートナー	平成15年6月

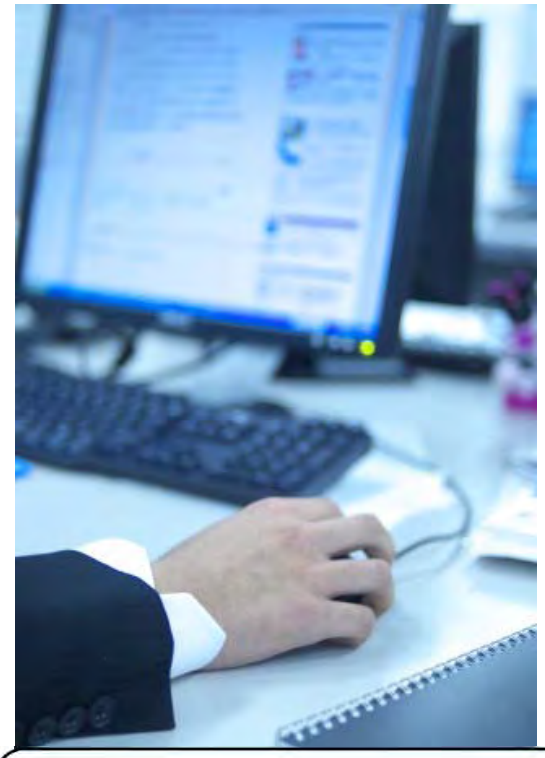
(株)エヌ・ティ・ティ・データ	
アソシエートパートナー	平成19年11月
ビジネスパートナー	平成21年10月

「技術力」、「専門性の高い業務ノウハウ」、「高度なセキュリティレベル」等を
ご評価いただき、主要SIer様が　ビジネスのパートナーとして当社を選定

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

当社システム開発実績（例）

生命保険システム
損害保険システム



インターネットバンキング
システム

郵便取引管理システム

スマートフォン決済システム
モバイル料金案内システム

配電管理システム

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

開発実績

豊富な業務システム開発実績

生命保険	新契約、支払、収納、保全、営業支援、団体保険、企業年金、数理　他
損害保険	契約管理、積立契約管理、保険料収納・精算管理、損害調査、代理店サービス、個人年金　他
銀　行	インターネットバンキング、資産運用、リスク管理、収益管理、顧客管理、外国為替　他
証　券	株式注文、約定、照合、決済、口座管理、権利配当、取引残高報告書、ＦＸシステム、 インターネットトレード、デリバティブ取引、外国証券　他
共済組合	生命共済、火災共済、交通災害共済、医療共済、介護保険　他
クレジット	入会審査、与信審査、延滞債権管理、サービサー、クレジットセンター、ＣＴＩ　他
情報通信	モバイル料金案内・料金シミュレーション、モバイルクラウドサービス、スマートフォン決済、 インターネットプロバイダー顧客管理　他
運　輸	鉄道車両検収・資材管理、旅行会社向け次世代システム、航空会社国内線予約システム　他
電　力	配電管理、工務管理、高圧配電線事故情報、分散電源機器管理、低圧系管理　他
その他	郵便取引管理システム、健康保険現金給付システム、気象データ配信システム　他

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

平成27年3月期計画

平成27年3月通期予想と前期比増減率

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	一株当たり当期純利益
				単位 百万円	単位 円
通　期	10,800	970	975	610	100.56
前期比増減率	3.0%	10.7%	10.5%	22.1%	32.4%

マーケット全体感

- 大胆な経済政策の効果で、回復基調
- 企業のIT投資は全体的に堅調に推移
- マイナンバーなど大型案件が控える
- クラウド、タブレットなどの台頭
- 業界としての技術者不足が拡大傾向

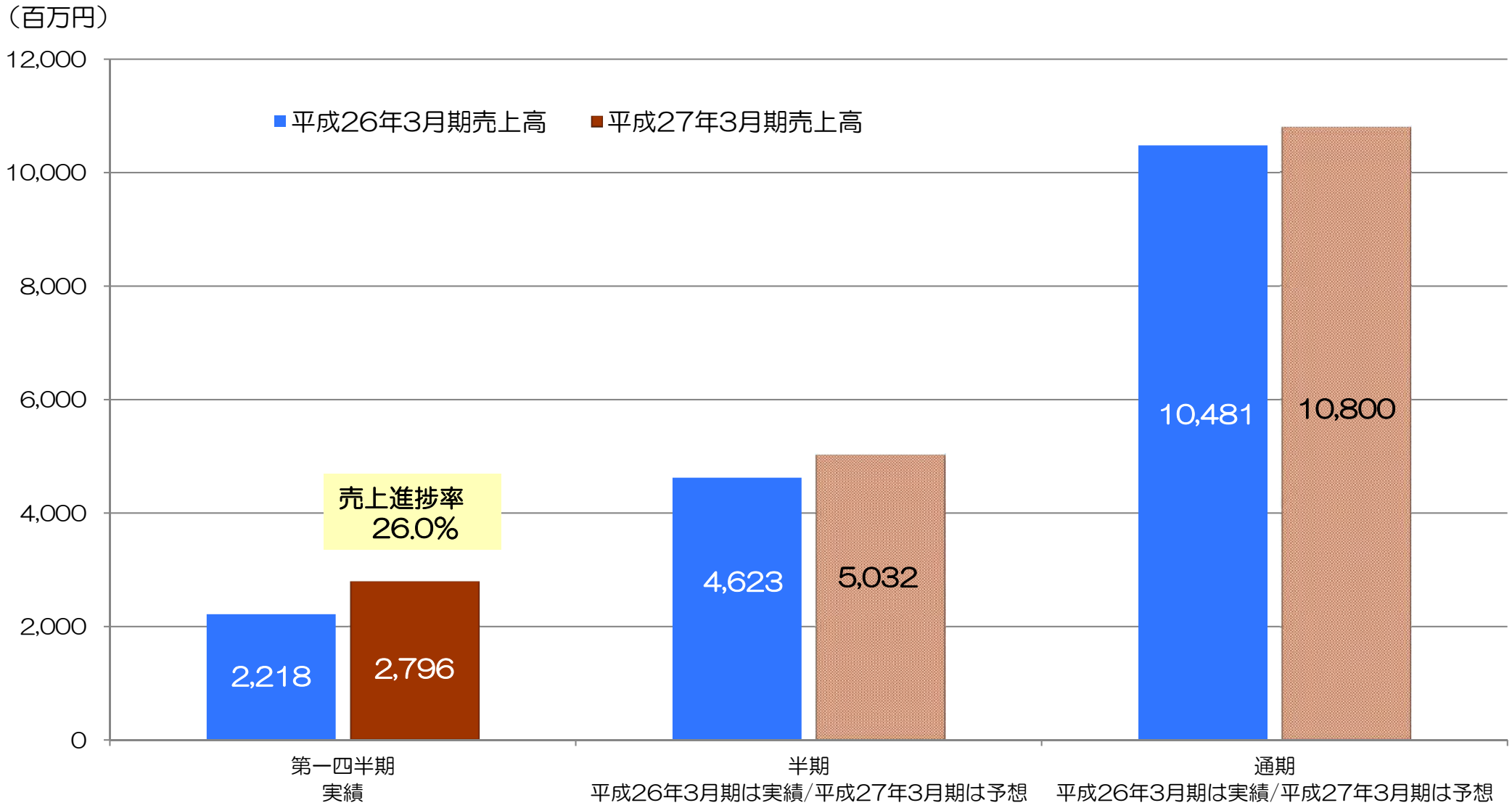
当社にとっての状況

- 銀行・保険の大型案件引合いが活発化
- 証券は一体課税対応等で急速に案件増加
- 損保は統合対応の終了等でやや収束傾向
- 金融以外の福祉や郵便業務も好調
- ソリューション型ビジネスにも着手

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

当事業年度の状況(売上高)

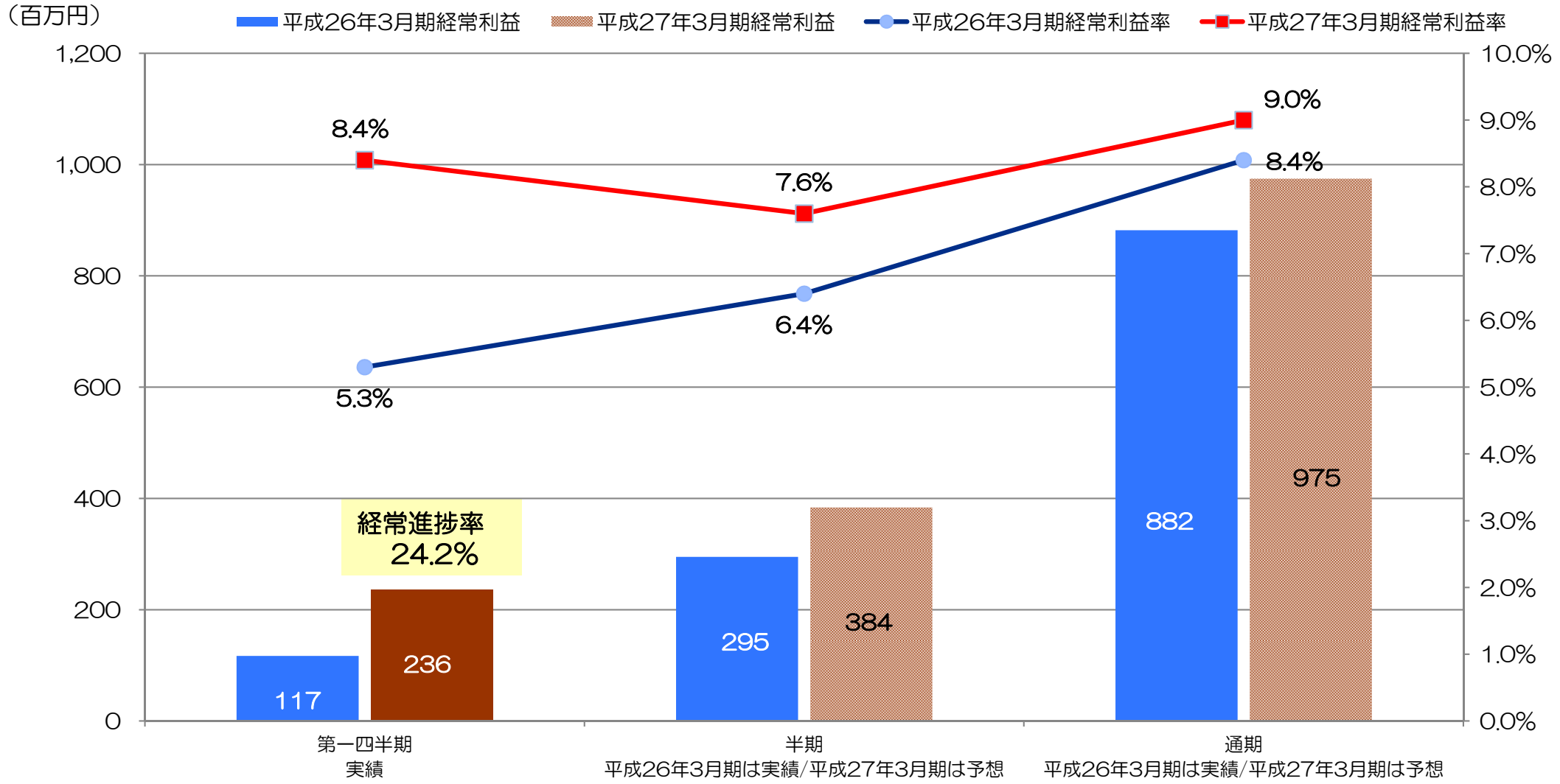
平成26年3月期と平成27年3月期の比較（第一四半期、半期、通期）



Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

当事業年度の状況（経常利益）

平成26年3月期と平成27年3月期の比較（第一四半期、半期、通期）



Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

今後の取り組み

当社は経営戦略として今後も以下の取り組みを行い、継続的な業容拡大と品質の向上を進めて参ります。

1．金融分野を中核（コアビジネス）とした市場競争力の一層の強化

- 高度な業務知識の蓄積と品質・生産性の向上で強みの更なる強固化
- 大型開発後の保守を積極的に受注し、安定的なストック型売上げ拡大
- システム開発受託領域のより上流工程から保守までのフルカバレージ化の推進
- BA（ビジネスアナリスト）、コンサルティング、PMO（Project Management Office）領域の強化
- AMO（Application Management Outsourcing ）、BPO（Business Process Outsourcing）の提供を推進し保守エンハンス領域の獲得・拡大

2．金融以外・基盤系業務の拡大 （金融以外の柱を作る）

- 金融に並ぶ、もう一つの柱の事業領域を確立 （通信、公共など）
- 仮想化などクラウドに対応した新業務分野のシステム開発や基盤領域の拡大

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

今後の取り組み

3．新規ビジネス創出　　（クラウド対応やサービス提供型へ）

- **LGCNS社製 生保パッケージ「*InsuTower*」の日本語化対応と日本マーケット展開**
- 韓国イノルールズ社のビジネスルール管理システム(BRMS)の「***innoRules***」国内販売を開始
- クラウド、ビッグデータ、BRMSなどの最新技術習得と新たなビジネス化を推進
- 顧客ニーズに対応し、サービス提供型ビジネス、ソリューション提供型ビジネスの推進
- 労働集約的なコモディティビジネスから脱却し、高付加価値ビジネスを追求

4.　顧客構成の適正化の推進

- エンドユーザ比率の向上と直接受注案件の拡大
- 大手優良顧客とのリレーションを強化し、長期・安定的なビジネスの拡大
- **SIer、ITベンダー、エンドユーザの3業態について、特性を考慮した適性な構成比を維持**
- 生命保険・損害保険・証券・銀行・非金融業務領域の受託量ポートフォリオ適正化の推進

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

今後の取り組み

5．ビジネスリスクの徹底した監視と対応による品質確保と仕損撲滅

- ISO9001品質マネジメントシステムに則った品質管理の徹底
- 商談、見積もりの社内検討会を義務付け、商談の初期段階からリスクの排除や対策を実施
- 毎月のプロジェクト点検、社内PMO実施による問題プロジェクトの早期発見と対策
- リスク管理規程に基づき、内部統制委員会による全社リスクの洗い出しと評価の実施

6．パートナー会社との関係強化で要員確保の柔軟性の実現

- 組織力・技術力を持った協力会社との関係強化を推進し、長期継続的に優秀な要員確保
- オフショアやニアショア会社の開拓と積極的な推進でリソース確保とコスト削減の推進

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

今後の取り組み

7.　人材育成と組織の活性化

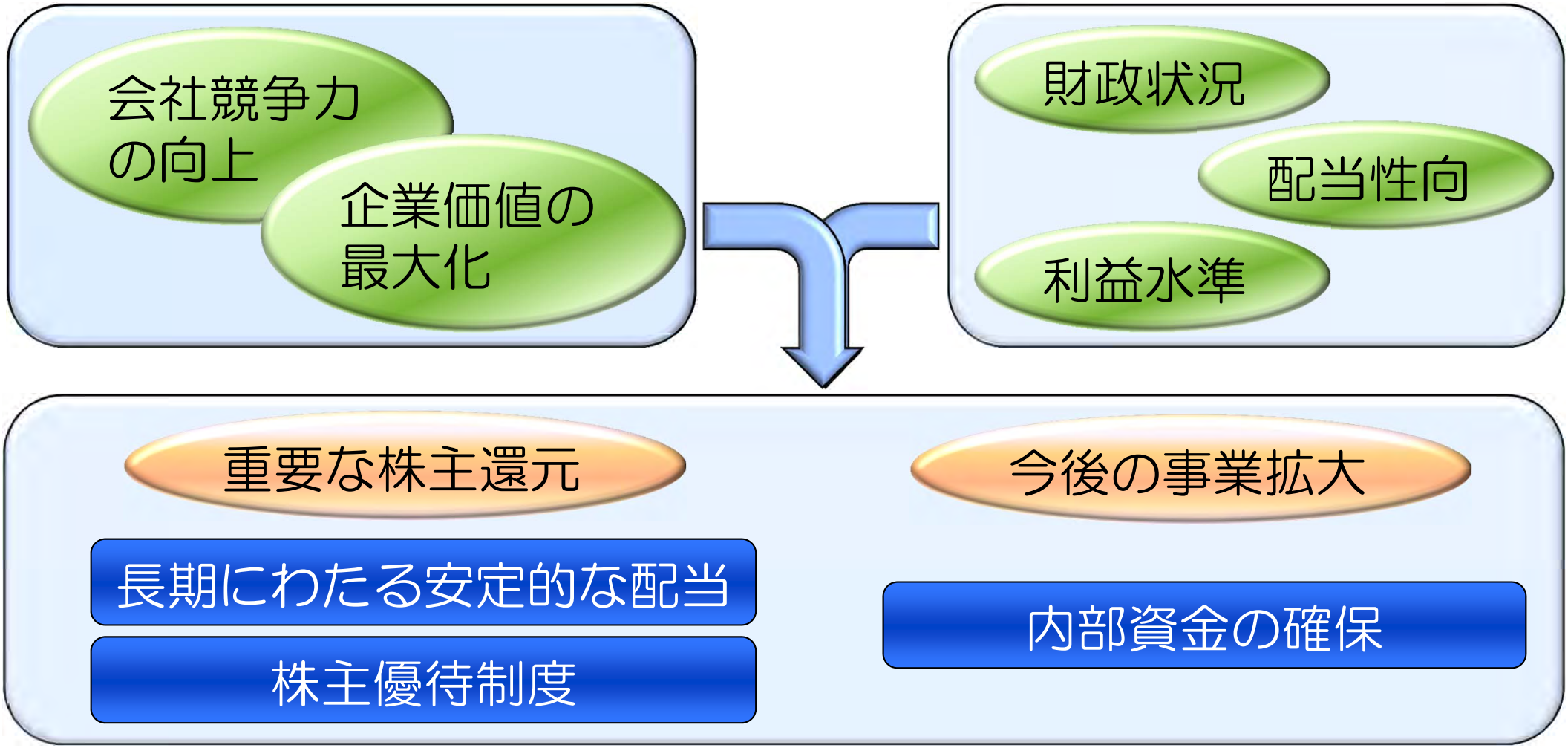
- 裁量労働制導入によるワークスタイルの改革と成果主義導入による人材活性化の推進
- 業務知識とIT技術両面の教育コース提供やOJTで技術と業務に精通した技術者育成を強化
- プロジェクトリーダ、プロジェクトマネージャ教育の強化でリーダの組織的養成実施
- 優秀な新卒者、アナリストやコンサルタント、プロジェクトマネージャなど優秀人材確保
- 開発現場の自主的な組織活性化委員会活動による自主性の醸成と活性化推進

8.　コンプライアンスとセキュリティ対応の徹底

- TSS企業行動基準に基づくコンプライアンス（法令遵守）を徹底
- プライバシーマークの適切な運用で個人情報管理の徹底
- セキュリティ委員会によるセキュリティ対策の強化推進と情報管理の徹底

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

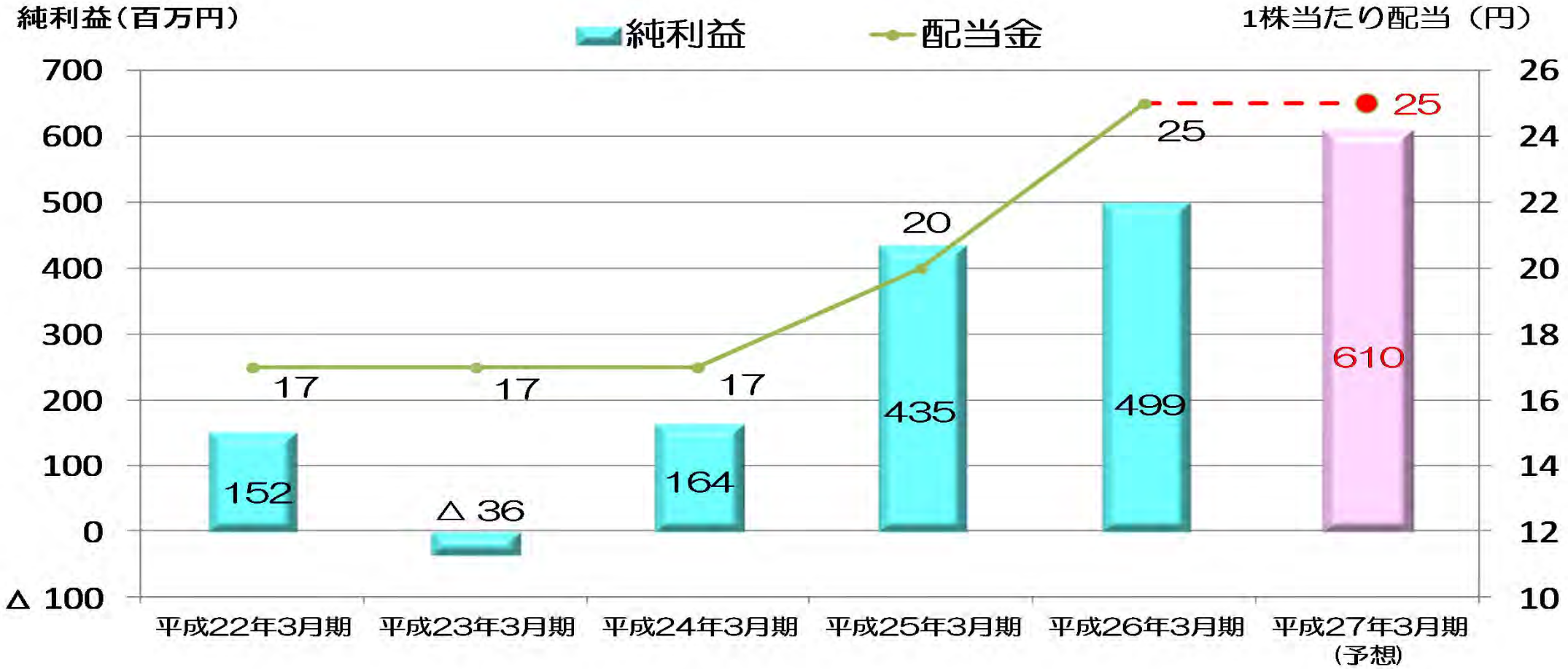
株主還元の方針



- 企業としての競争力の向上と企業価値の最大化の追求
- 長期かつ安定的な株主還元と会社の事業拡大に向けた内部資金の確保の観点から配当性向は30%程度を目安として配当を実施する方針

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

純利益に対する配当金　（配当性向）



配当金	17円	17円	17円	20円	25円 ※22円＋記念配当3円	25円(予想)
配当性向	77.0%	-	70.3%	31.1%	32.9%	24.9%
純資産配当率	2.9%	3.0%	3.0%	3.4%	3.7%	-

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

株主優待制度

対象となる株主様

・毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有していただいている株主様

株主優待の内容

・クオカード1,000円分
（100株以上、年1回）

送付時期

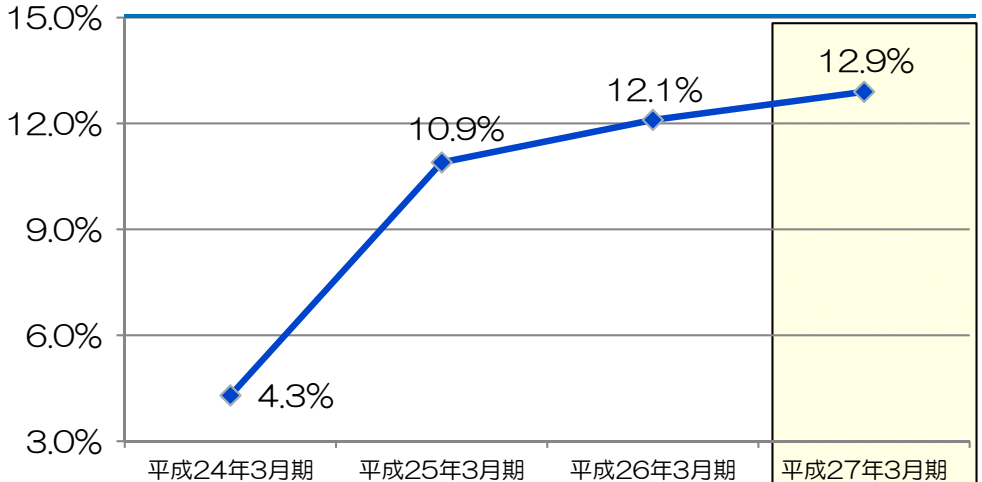
・毎年12月上旬
（第2四半期報告書送付時に同封してご送付）

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

投資指標と株価推移

自己資本当期純利益率(ROE)

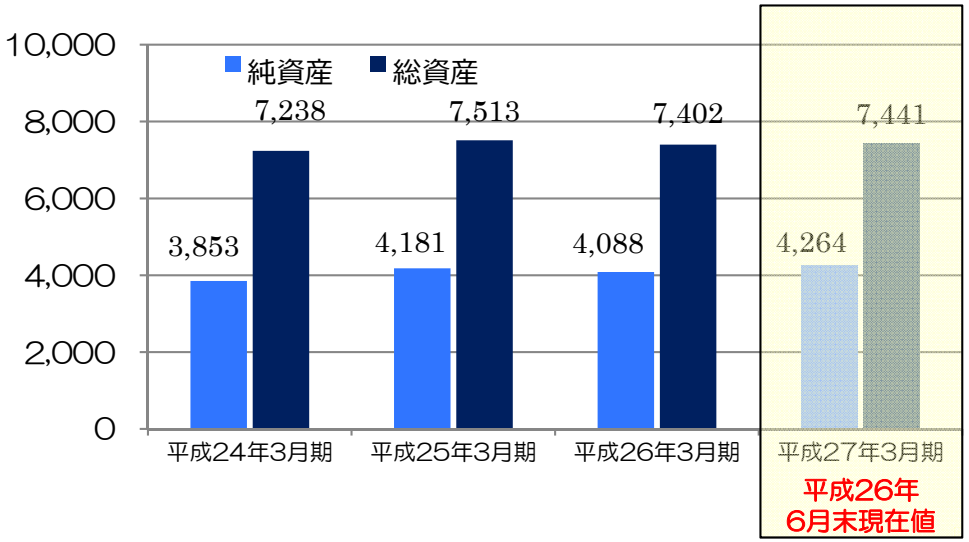
ROE 15%が目標



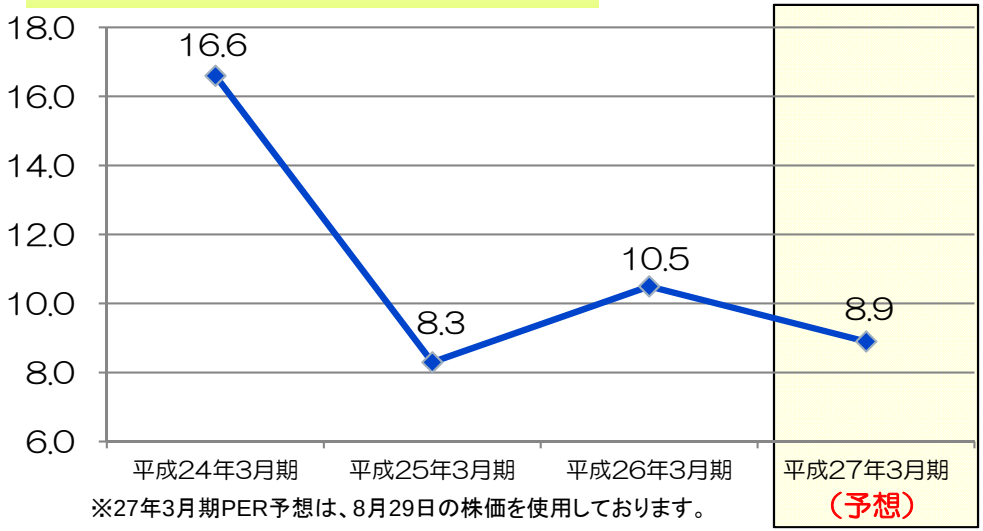
※27年3月期ROE予想に使用した純資産は、6月末現在の純資産に通期の当期純利益（予想）－第1四半期当期純利益（実績）を加算しております。

純資産・総資産

単位：百万円



株価収益率(PER)



※27年3月期PER予想は、8月29日の株価を使用しております。

株価推移

株価：円

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

最適なシステムソリューションを
提供する高信頼度企業！

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。

株式会社 東邦システムサイエンス

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.

＊本資料についてのご注意

本資料は、平成26年3月期の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。

Copyright© 2014 Toho System Science Co.,Ltd. All rights reserved.